



キク編



病害虫注意報 2025年2月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

引き続き、ハダニ類の発生に注意しましょう！

生態

- ▶ **発生適温** 20～30℃。
25℃条件下にて卵～成虫までの期間が約10日。1雌の産卵数は100～200卵！→増殖力が高い！
- ▶ **湿度** 高温乾燥条件にて多発生。
- ▶ **特徴** 繁殖力が高く、発育期間が短いため 薬剤感受性が低下した個体が発生しやすい。

対策

- ▶ **発生場所の把握**
圃場内で乾燥する場所を把握する。
(冬場は暖房機、出入り口付近 など乾燥しやすいので、要注意)
- ▶ **薬剤散布**
葉裏にしっかり散布する。
RACコードの異なる剤をローテーション散布する。



⇒ 早期発見、対処が肝心！

今月のおすすめローテーション ⚠

地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに展着剤・葉面散布などを加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	適用病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 アントラコール顆粒水和剤	1,000～2,000倍	発病前～発病初期	6回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病 褐斑病・黒斑病	予・治 メジャーフロアブル	2,000倍	発病初期	3回
	20D	ナミハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍	開花前まで	1回
発蕾時	21A, 39	白さび病・アザミウマ類 アブラムシ類・ハダニ類	予 ハチハチ乳剤	1,000倍	発病・発生初期	4回
	25A	ハダニ類	スターマイトフロアブル	2,000倍	発生初期	1回
破蕾時	3	白さび病・うどんこ病	予・治 アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
	33	ハダニ類	ダニオーテフロアブル※	2,000倍	発生初期	2回

対象病害虫によって希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

※花き類・観葉植物登録

海藻サンバ

- ▶ コリンによる **光合成促進**と**発根促進**
- ▶ 海藻エキスによる **発根促進**

挿し穂浸漬処理時に混用がおすすめ！
1,000倍で使用。



海藻サンバを入れた挿し穂浸漬液に浸漬処理した15日後の様子。



肥料登録番号
生第101491号